

リハプレゼン報告

山口大学 総合図書館

利用者サービス係 守永盛志（受講者番号 21）

情報サービス係 笹本祥子（受講者番号 20）

（1）発表資料の状況設定

対象者：山口大学の教職員

* 学内で説明会を開催、参加者は学部・分野を限定せずに参加を募った。

参加した教職員は、リポジトリについて知っているものもいるが、全体的に知らない者の方が多いケースを想定。

参加人数：10名～20名

目的：「YUNOCA 山口大学学術機関リポジトリ」の概要・メリットを伝える。教職員へ向けて論文データの提供をお願いする。

教職員にしてもらうことを理解してもらう。

時間：30分

- ・スライドを利用したプレゼン（10～15分）
- ・質疑応答（残り時間）

（2）発表内容抄録と研修当日の講師からの助言、及び研修発表との改訂部分

（発表内容）

- ・山口大学学術機関リポジトリ（YUNOCA）とは
- ・各大学リポジトリの紹介
- ・収集対象となる研究成果
- ・提供する論文データとは
- ・研究者のメリット
- ・大学のメリット
- ・学術研究成果の登録手順
- ・著作権について
- ・お願いしたいこと

* ポータル研修にて、『研究者のメリット』を強調することが大事であるとのアドバイスを
得たので、メリットにあたる部分をより詳しく説明した。

* 概要説明だけで、『じゃあ具体的に何をすればいいの？』とならないよう、先生方にお
願いしたいこと、して欲しいことを明確にした。

(3) リハプレゼンの概要

日時：2006年9月13日 9:30~10:00

場所：図書館内 TV会議室

発表対象：リポジトリプロジェクトメンバー6名、その他3名

参加人数：9名

(4) リハプレゼンへの反響

- ・プレゼン時間は15分とし、残り時間を質疑応答とした。
- ・アンケートを実施し、7名から回答を得た。結果は以下の通り。

1. プレゼンの時間は適当だったか？	
長い	0
やや長い	1
ちょうどよい	6
やや短い	0
短い	0
2. リポジトリの概要は理解できたか？	
できた	7
できなかった	0
どちらとも言えない	0
3. 説明は分かりやすかったか？	
分かりやすかった	5
分かりにくかった	0
どちらとも言えない	2
4. プレゼンを聞いて、リポジトリに関心を持てたか？	
持てた	5
持てない	0
どちらとも言えない	2
5. 4. で持てない、またはどちらとも言えないと答えた方は、理由をお書き下さい。	
・初めて聞く話ではないので。	
・研究者自身のメリットがあまりイメージできない。	
6. 感想	
・一次情報という言葉が分かりにくいのでは、と思った。	
・初心者向けで良かったと思う。	

・丁寧にするあまりか、繰り返しが気になった。
・丁寧だが早口。
・まあまあとまわっていて、先生方にリポジトリに関心を持ってもらうという趣旨では、いいプレゼン内容だった。

(5) その他

- ・リハプレゼンの他、機構の打合せにて、教職員にプレゼンを行った。時間は10分。教員のメリットを強調した方が良いとの意見があった。
- ・今後は、各学部の教員・紀要編集委員を対象にプレゼンを行う予定。